

令和4年 柏市教育委員会研究指定校

「いかす学び～オーセンティックラーニングを通して」 研究的な授業公開

「学びのストーリーシート」

展開授業教科
1年 生活科 『土っ子ランド』

関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容
教科 生活科 单元名 はるとなかよし あきとなかよし 簡単に内容 校外学習で見つけた物や分かったことを活かして遊びや飾りを作る。	教科 国語科 单元名 見つけたよ、いきもの ひみつ 簡単に内容 校外学習で調べた動物の様子をクイズにする。	教科 図工 絵画・工作 簡単に内容 動物の絵を描いたり、箱で動物を作ったりする。

この学習単元のゴールイメージ
<p>1年間で学習してきた、アサガオとサツマイモの栽培や、ビオトープでの自然体験学習、東武動物公園への校外学習でのクイズ作り、地域の公園探検で見つけた物や体験したことなどを基にして、遊びの形に表現して、園児や保護者、地域の方々に伝える会を開く。</p> <p>この活動を通して、四季の自然の特徴に気付いたり、良さを実感したりすることができる。そのことを幼稚園児等に伝える活動に結び付けることにより、園児と触れ合うことを目的とした主体的な活動を引き出し、「自分を知り自分を表現したり」、「粘り強く調整しながら取り組んだり」して「できた」という達成感を味わえるようにする。また、一人一人の子が自分自身の成長に気付くことにもつなげたい。</p>

今日の授業で期待しているこどもの姿
<p>今日の授業は、「うまくいったことに自信をもつ」「うまくいかなかったことを見つけ改善する」ための時間です。『園児の皆に楽しんでもらうためにはどうすればよいか』という大きな問いをもちながら、学びを【遊び】という形で表現します。長所や改善点を見出してくれる大人（保護者）をプレオープンとして招き、本番に向けて「粘り強く調整しながら進む姿」を期待します。</p>

令和4年 柏市教育委員会研究指定校

「いかす学び～オーセンティックラーニングを通して」 研究的な授業公開

「学びのストーリーシート」

展開授業教科
2年 生活科 『土の町たんけん』

関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容
教科 国語 単元名「町のすてきを伝えよう」 町のすてきなどころを伝えるための文章を作成する学習において、ビオトープを題材に文章を作成した。	教科 生活科 単元名「生き物発見」 身近な町の生き物の生態を調べるために生き物の調査をして、その様子を動画にまとめた。	教科 学級活動 単元名「著作権と肖像権」 町たんけんの動画づくりを行うに向けて、著作権や肖像権について学び、これからの社会で生きていく子どもたちを育てる。

この学習単元のゴールイメージ
<p>自分たちの住む土地の魅力を認識するために町たんけんを行う。自分たちの住んでいる地域にはどのような人が住み、どのような仕事をしているのかを町たんけんを通し、発見する。町たんけんを通し、自分たちが発見した地域のステキなことを動画で表現する活動を行うことで、自身の地域との関わりをメタ認知する。このような学習を通すことで、自分たちが住む地域を深く知り、自分の住んでいる土地域に愛着を持てるようにすることを学習のゴールイメージとする。</p> <p>この学習活動を通じて、他者と助け合ったり、目標に向けて粘り強く取組んだりする力をつけていきたい。</p>

今日の授業で期待しているこどもの姿
<p>今日の授業は、自分たちが町たんけんを通して探してきた町のステキを、iPadを活用して動画にまとめたものを紹介することを目的としています。また、この活動を通し、児童の地域に対する愛情や思いを育てるだけでなく、これからの未来を生き抜くうえで必要となる情報活用能力を身に付けることも目的としています。2年生がどこまで端末を活用し、情報活用のリテラシーに関する面について、意識しながら学習ができているかを見てもらいたいです。</p>

令和4年 柏市教育委員会研究指定校

「いかす学び～オーセンティックラーニングを通して」 研究的な授業公開

「学びのストーリーシート」

展開授業教科
3年 総合的な学習の時間
『むかしのくらし ～ふるさと資料室の魅力を伝えるにはどうしたらよいだろうか～』

関連教科と内容	関連教科と内容
教科 社会科 単元名 市の人々のくらしのうつりかわり むかしの道具を調べ、今の道具と比べる。	教科 国語 単元名 取材して伝えよう 地域の人にインタビューをして、昔のくらしについて学ぶ。

この学習単元のゴールイメージ
土小学校には、ふるさと資料室がある。このふるさと資料室にある昔の道具を実際につかっただことがある人は、職員にも保護者にも少ないのが現状である。そこで地域の方々に協力をお願いし、実際に使ったことがある方々に来校いただき、資料室にある昔の道具についてインタビューする機会を作った。本やインターネット、インタビューを通して昔の道具について調べ、古いながらもその道具の魅力を感じ、学んだことを地域の人や保護者に発表し、自分たちが感じた魅力を理解してもらうことで、ふるさと資料室の魅力を伝え、この資料室を大切にしていきたいという気持ちを育てたい。この活動を通じて、他者と助け合ったり、目標に向かって粘り強く取り組んだりする力を育成していきたい。

今日の授業で期待しているこどもの姿
今日の授業は、昔の道具を実際に使っていた地域の人へインタビューをし、学んだ内容をまとめる授業である。わかったふりをせずに、わかるまで粘り強くインタビューしていく姿を引き出したい。 インタビューを通して学んだことを、他者へ伝えるためにスライド、新聞、ポスター等、自分の表現方法に合った方法でまとめていく。

令和4年 柏市教育委員会研究指定校

「いかす学び～オーセンティックラーニングを通して」 研究的な授業公開

「学びのストーリーシート」

展開授業教科
4年 総合的な学習の時間
『Save Mylife Goal's(SMGs)～土地域の安全を守るにはどうしたらよいか～』

関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容
教科 国語 単元名 『リーフレットで知らせよう』 わかりやすく、報告するリーフレットを作り、地域の人々に提案する。	教科 国語 単元名 『メモの取り方をくふうして聞こう』 エンジョイパトロールの方が話してくれた内容を素早く簡潔にメモする。	教科 社会 単元名 『自然災害からくらしを守る』 自然災害による危険個所を知り、土地域の危険個所と関連づける。

この学習単元のゴールイメージ
<p>土地域の特性として、坂道が多く、道幅が狭く見通しが悪い道などが多く存在する。また、児童の中には自転車に乗る際にヘルメットをかぶっていなかったり、乗車前の自転車点検や乗り方が良くなかったり、安全意識に低い傾向がみられる。子どもたちの安全に対する意識を向上させ、身の回りの安全についての理解を深め、安全に対する意識を高めることが課題である。</p> <p>そこで、通学路を中心に危険個所探しのフィールドワークを行い、全員が学区全体をフィールドワークすることを通じて、通学路に潜む危険について気づかせたい。危険性について認識したことを、自分たちだけではなく、土地域に住むすべての人々に知ってもらったり、安全確保のためにカーブミラーや、横断歩道の補修などを市や警察に提案したりして、より安全に暮らせるよう、地域に貢献する活動を行う。この学びを通して粘り強く取組んだり、学んだことを実生活に活かしたりする力をつけていく。</p>

今日の授業で期待していること
今日の授業では、他のグループが発見した危険個所を確認したり、どのように土地域の危険個所を改善したりしていくのかをお互いに明らかにしていく授業です。今までのフィールドワーク(コース探検、ミニエンジョイパトロール活動)を通して、実際に見て感じたことを再確認することと、そこから解決すべき課題に気づけることを期待している。

令和4年 柏市教育委員会研究指定校

「いかす学び～オーセンティックラーニングを通して」 研究的な授業公開

「学びのストーリーシート」

展開授業教科
5年 総合的な学習の時間 『知産知消 直売所お知らせ隊』

関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容
教科 国語 単元名 白神山 地 意見文の書き方 を知り、直売所へ の提案に活か す。	教科 算数 単元名 割合 直売所の販売状 況や売り上げなど を%で表すことが できる	教科 社会 単元名①日本の 農業②これから の食料生産とわ たしたち 自国の食料自給 率を知り、今後の 農作物を作る意 欲へとつなげる。	教科 理科 単元名①植物 の発芽と成長 ②植物の実や 種子のできか方 実際に作物を育 てる。	教科 家庭科 単元名 食べて 元気に 地域の野菜を使 って、日常の食 事に生かす。ま た、写真を撮っ てレシピア集とし て掲示する。

この学習単元のゴールイメージ

土小学校の学区には古くから農家がたくさんあった。現状では農家は少なくなっており、子供たちの生活に農家の仕事についての理解は少ない。これからの社会を考えた時、日本の農業自給率を上げていく等、農業についての知見を持つことは大切なことだとである。社会科で学習した農業について、土地の実態をもとに課題解決型学習として総合的な学習の時間に取り組み、土地の実態に対して自分たちに何ができるかを、主体的に取り組む中で考えたり行動したりする中で、地域貢献を通して学びの充実を図りたい。そこで、野菜直売所の活性化をテーマに各農家と自分たちの考えを突き合わせながら、よりよい野菜直売所を提案する活動を通して、学んだことを実生活に活かしたり、目標に向かって調整したりしながら粘り強く取り組む力を育て、各農家の方々に喜んでもらえる活動としていきたい。

今日の授業で期待しているこどもの姿

今日の授業は、直売所の活性化をねらいに進めてきて、地域の課題をもとに考えた対策を農家の方にプレゼンする授業です。従って、今まで農家を訪問して調べてきた記録や、本で調べたことを元に、農家の売り上げを伸ばすことや潤うことができる方法を自己決定することができる。そこからもらった課題をさらに考えて深めたい。

令和4年 柏市教育委員会研究指定校

「いかす学び～オーセンティックラーニングを通して」 研究的な授業公開

「学びのストーリーシート」

展開授業教科
6年 総合的な学習の時間 『土地域スマイルアップ大作戦』

関連教科と内容	関連教科と内容	関連教科と内容
教科 国語 単元名 自分の考えを発信しよう 簡単に内容 自分の主張や考えを効果的に伝える方法を知り、調べたことや発表に活かす。	教科 道徳 単元名 白神山地 簡単に内容 自分たちの地域の良さと、その良さを守るためにできることを考える。	教科 社会 単元名 歴史 簡単に内容 過去の出来事や文化の発展が今の土地域の生活にどのような影響を及ぼしているのかを考える。

この学習単元のゴールイメージ
子供たちは土地域という長い歴史を持つ場所に住んでいるが、実際にはその良さや特徴について正確に把握していない。そこで、単元の始めにおおまかな地域の歴史を知る学習を設定し、それを元に土地域に貢献するためにはどうすれば良いかを考え、グループでテーマを設定し取り組みを行う。実際にフィールドワークや奉仕活動を行うことによって、子ども一人一人が土地域の良さを徐々に感じ、探求的に分析し・理解することができるようになってきた。その行動を通じて、地域にいかに貢献していけるかということを主体的・協働的に考えていながら、地域の歴史の伝道師たる姿を目指していきたい。この活動を通じて、土小の目指す4つの姿をしっかりとしたものとしていきたい。

今日の授業で期待しているこどもの姿
今まで学習したことをまとめ、そこから新たな課題を明確にする授業です。各グループごとに調べたこと、活動したこと、作ったことを発表していきます。参観者からのアドバイスを受けて、他者の発表を聞いたりすることから、新たな課題を見出すことができるかが、本時のねらいとなる。2月の最終的な土サミットで地域に向けた発表と、小学校の総合的な学習のまとめにつなげられるよう、自分たちの発表内容をメタ認知できるようにしていきたい。